

備後地方の名産品を多数発信する、備後特産品研究会（中島基晴会長、福山市御船町一―一三―五、中島商店内）が8月10日、炊きたてご飯にまぜるだけでおいしい「瀬戸内巡りませご飯」（六〇グラム、三九〇円）Ⅱ写真上Ⅱを発売した。水産物加工販売の（株）桑田商店（福山市南松永町一―二二―三、桑田健太郎社長）と保命酒醸造元の（株）岡本亀太郎本店（同市鞆町）が協力。約一年かけて完成させた。

新商品は6月末に発売した「瀬戸内海を駆け巡るふりかけ」Ⅱ写真下Ⅱ（六〇グラム、三九〇円）に続くもの。どちらも（株）岡本亀太郎本店の「本産」。

備後特産品研究会

「瀬戸内巡りませご飯」発売

地元素材使った手軽な食品



ヤコは走島町、ノリは内海町産。桑田社長は「チリメンとヒジキを使った『瀬戸内巡りませご飯』は、茶わんに盛ったご飯にかけてもOK。手軽で、子どもや高齢者にも受け入れやすいのでは」と話す。桑田商店、中島商店、道の駅アリストぬまくま、ともてつバスセンターで販売中。「軽くて価格も手ごろ。観光客の土産にちょうど良いはず」と期待を掛けている。